

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報			
学籍番号	MJ22014		
氏名	伊藤 稚菜		
学部	建築学部		
学科(コース等)	建築学科		
学年(渡航開始時)	修士2年		
ウェブ等への体験談掲載への同意	☒ 氏名も掲載してよい ☐ 学部・学科まで掲載してよい ☐ 完全匿名での掲載を希望		

留学先情報				
渡航型/オンライン型	☒ 渡航型 ☐ オンライン型			
プログラムタイプ	☒ 授業履修型 ☐ 研究室配属型			
国・地域名	Finland			
都市名	Espoo			
留学先大学名	Aalto University			
留学期間	☐ 3ヶ月未満 ☐ 3ヶ月～半年（1セメスター程度） ☒ 半年～1年（2セメスター程度）			
プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等)	2023年9月上旬	プログラム終了時期 (2021年9月上旬等)	2024年7月上旬
留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	☐ 1年前期	☐ 修士1年前期		
	☐ 1年後期	☐ 修士1年後期		
	☐ 2年前期	☒ 修士2年前期		
	☐ 2年後期	☒ 修士2年後期		
	☐ 3年前期	☐ 博士以上		
	☐ 3年後期			
	☐ 4年前期			
	☐ 4年後期			
上記協定校を志願した理由を教えてください。	アアルト大学には木を加工するためのデジタルファブリケーション施設があり、そこではCNCマシンや3Dプリンターなどと連動させて目次あの加工に関しても学ぶことができるため、常に自分の頭の中のをアウトプットできる環境があり、手で触って考えを進めていくことができる。このプログラムを通して日本とフィンランドの木材事情を比較して考えることができるのに加え、他の国からのメンバーを通しより広い視野を持ち木材事情に関して学ぶことができる。特にフィンランドをはじめとするヨーロッパの一部では日本よりも大規模木造の開発が進んでいるため、木材流通構造とリンクさせた設計を学ぶことができる。			
(研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)				

留学中の学籍について	
休学の有無	☒ 休学をした ☐ 休学しなかった
休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取り終えており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

Wood Programとは、アアルト大学が世界各国から建築学生や実務経験者を対象に参加者を募集し、歴史から工法、流通など木材に関することを学習から製作まで一貫して行い一年間のプログラムである。このプログラムは木材そのものに関する知識を付けたうえで最終的に木材の建築への応用を提案することが目的である。下記に記載する授業では座学と製作が並行して行われ、最後にそれぞれ個人が木材建築のテーマを設定しコンペを開催する。選ばれた生徒の計画は1/1スケールでメンバーによって製作される。このコンペではこれからの木材について考えさせられるような実験的なものが求められる。過去の作品には住宅やバビリオンなど様々なスケールのものが選ばれている。建築専門誌の「新建築」にも作品のひとつが記載されており、日本の建築界においても注目されているプログラムのひとつであることが伺える。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。（たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。）

科目概要	Wood Architecture, Experimental Building Project, Lecture	単位数 (現地単位数)	18
	The course follows the design of an experimental building from first sketches to a finished and constructed design. This process introduces the students to essential aspects of design and construction using wood products and materials as well as methods of pre-fabfication, transport and assembly.		
科目名②	Forests, Wood and Carbon, Online teaching	単位数 (現地単位数)	5
科目概要	・ are able to describe the role of forests in the carbon cycle and the potential of wood products as carbon storage ・ are able to differentiate the main forest operation methods and material flows in the forest bioeconomy ・ are able to list the common work phases of life-cycle analysis ・ know how to calculate carbon handprint in the case of wood ・ know the basic macro-level structure of wood and are able to describe the basics of wood grain orientation ・ are able to describe how moisture influences wood dimensional changes and strength and are able to explain these phenomena based on cell-level interaction ・ know the influence of grain angle, knots and other natural features of wood on its movement, appearance, and mechanical properties ・ are able to describe the most common wood products and their typical applications		
科目名③	Wood Architecture, Material Studies: Timber, Tool, Technique, Lecture	単位数 (現地単位数)	6
科目概要	This course will introduce students to essential tools, material properties and techniques of working with wood through hands on exercises.		
科目名④	Wood Architecture, Lecture Course: Wood in Architecture and Construction D	単位数 (現地単位数)	6
科目概要	Students will leave the course with an general understanding of wood material, wood products and use of wood in construction from an technical, aesthetic, energetic, structural and perspectives.		
科目名⑤	Wood Architecture Research Course: Industrial Wood Construction D, Lecture	単位数 (現地単位数)	6
科目概要	The course introduces students to the materials, structures, products, and production methods used commonly today in industrial wood construction. Students will learn to understand built works of architecture in relation to their elementation, structural systems, industrial manufacturing, transport and assembly.		
科目名⑥	Sustainability Tools for the Built Environment, Lecture	単位数 (現地単位数)	6
科目概要	The course will introduce you to the basic tools that are used for quantifying sustainability in the built environment. These include material flows (tool: OneClickLCA) , life cycle assessment (tool: OneClickLCA) , energy simulation (tool: IDA-ICE) and ecosystem services (tool: Green factor) . After the course, you will also be able to compare and interpret these quantitative aspects of sustainability for key building products and services.		

留学先での学習・研究以外の交流活動	
交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。	普段の授業でも基本20人のプログラムメンバーのみで行われるため、アアルト大学の他の生徒との関わりがどうしても少なくなってしまう。そのため、学部ごとに結成されているギルドの加入や、サークルにはいることで人間関係を広げることができる。

自由記述欄	
留学で感じたこと等、自由に記載してください。 (当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)	

留学手続き時に苦労した点	
協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など）	portfolioの現物を国際便で送らなければならないため、早めに英語のものを準備しておく必要がある。TOEICを受けておく必要がある。
ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など） （渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）	ビザの発行に時間がかかる。単位取得型の正規留学とは異なるため滞在先を自分で見つける必要がある。
その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。	国際免許証の発行をしておくといい。

滞在先の宿泊施設などの情報 （渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）	
宿泊先のタイプを教えてください。（協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等）	シェアフラット
上記宿泊先はどうやって手配しましたか？（出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等）	知人の紹介。
現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？ 交通手段や所要時間を教えてください。	タクシー
上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。	バス、電動スクーター
上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。	個人の居室は8畳程度、その他水回りはフラットメイトとシェア

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥2,000,000	授業料
往復航空券代(往復)	¥400,000	
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥100,000	
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥100,000	
計	¥2,600,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥100,000	
食費/月	¥100,000	
その他/月	¥100,000	
計	¥300,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥80,000	
計	¥80,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

アアルト設計のアアルト大学のホール。
アアルト大学にはアアルト設計の建物が多くある。

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします

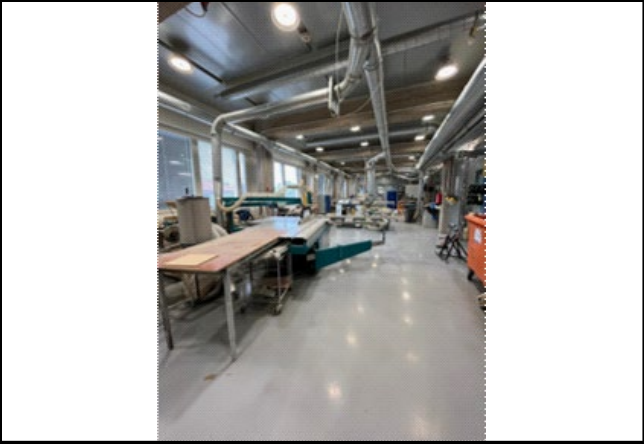


説明文

家具や食器などは家賃に含まれている。
消耗品のみ各自で購入する。

日

その他、任意の写真



説明文

木材加工のための工房。
丸太サイズものでも加工することができる。

その他、任意の写真



説明文

プログラムの最終成果物。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。